

令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度は、公益目的支出計画として位置付けている実施事業等会計区分事業（緑化推進、緑化普及啓発等）計画の一層の執行を図ると共に、その他会計として区分している事業（岐阜公園、葉草園、収益事業）についても着実な執行を図ることを念頭に事業を進めた。

以下、事業概要を報告する。

1 実施事業等会計

(1) 実施事業等（公益目的）緑化推進事業

① 緑化推進事業

ア わが家のシンボルツリー記念樹配付

配付本数 615本 957,275円(前年度 900本 1,577,400円)

第1回 令和3年11月14日 264本

第2回 令和4年 3月 6日 351本

ハイポネックス（肥料）及び啓発冊子「花と緑のある暮らし」、「みどりのまちだより」を配付した。

イ 花飾り講習会の開催

市民を対象に年5回（14日間）開催し、体験教室を通して花の栽培、生育に係る知識の普及を図った。

新型コロナウイルス感染防止対策として集合対面形式の講習を動画配信による方法へ変更して実施した。各開催の応募者が多く盛況であった。

参加者に緑化推進として、「花と緑のガーデニングノート」等の啓発冊子を配付することにより、家庭での緑化推進に寄与した。

実施日及び参加者数 計 514人（前年度 250人）

参加者内訳 5月18、19、20、21日 140人

9月16、17日 81人

11月30日、12月1、2、3日 140人

1月20、21日 83人

3月15、16日 70人

※第3回(11月)のみ従前の集合対面型で実施

ウ 樹木医診断の実施

民有地緑化の主となる樹木の適正な維持管理をした。
市民からの依頼に基づき、樹木医を派遣し相談に応じた。
保存樹・保存樹林の定期健康診断を実施した。

診断件数 45件 1,377,000円
(前年度 45件 1,404,000円)

エ 市民活動団体への活動支援

緑化等普及啓発に資するよう市民による関連活動の促進を図った。

・緑化団体支援

ふれあい花壇団体交流会を秋季に3日間実施した。

南部、北部、西部コミュニティセンターで講習会等を実施し、
参加者に花壇用の肥料及び冊子「花と緑の Q&A」「花と緑のガー
デニングノート」を配付した。

参加団体 138団体
参加者数 138人 (前年度 154人)

参加者内訳

10月20日53人 21日42人 22日43人

春季(ペゴニア、サルビア)、秋季(パンジー)に花苗を各団体に配付した。

※新型コロナウイルス感染予防のため、春季のふれあい花壇団体交流会を中止した。(例年は年2回開催、前年度も春季は中止)

② 緑化普及啓発事業

ア 保存樹・保存樹林への対応

市内で指定された保存樹・保存樹林の適正な維持管理をした。

・保存樹等管理者講習会の開催

7月21日 南部コミュニティセンター 27人
(前年度 31人)

「樹林の健康管理」と題して、樹木医により講義を実施した。
メネデル(植物活性剤)及び啓発冊子を配付した。

・保存樹・保存樹林の補助金交付事業

登録数 保存樹 62件 保存樹林 20件

保存樹 54件 342,000円 (前年度 55件 350,000円)

保存樹林 20件 490,000円 (前年度 20件 490,000円)

※保存樹62件のうち8件については、補助金が無くても適正管理が可能のため辞退。

イ 各種の奨励補助金の交付

民有地緑化の普及を図るため各種の補助金を交付した。

・張芝奨励補助金交付 23件 646,000円

(前年度 22件 608,970円)

・生け垣づくり奨励補助金交付 0件 0円

(前年度 1件 26,000円)

・自然環境保全活動団体支援

岐阜市自然環境の保全に関する条例に基づいた団体に対し、財政的な支援として補助金を交付した。

9団体 570,000円 (前年度 9団体 570,000円)

③ 緑化基金造成、管理

主催又は参加するイベント時に基金活動を行った。

基金活動を兼ねて以下のイベントに参加し、緑化啓発パンフレット、種子及び花の配布を行った。

ア 一般募金額 総計 61,800円 (前年度 64,500円)

・ 第11回ふれあい緑化フェア R3.10.23

21,000円 (前年度 11,700円)

・ シニアワークフェア R3.11.6

40,800円 (前年度 34,800円)

・ 花飾り講習会

0円 (前年度 18,000円)

※以下のイベントにおいても募金活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止となった。

・ 第49回道三まつり

・ フローラリーー岐阜

・ 第65回ぎふ信長まつり

イ 団体寄付金(岐阜市) 1件

岐阜市役所28部所の職員から寄付を受け、謝礼品の球根(チューリップ)の配布をした。

1,162口 584,253円 (前年度 1,099口 550,947円)

ウ 緑化基金現在高

前期末残高 302,245,473円

当期増加高 646,053円

当期末残高 302,891,526円

(2) 実施事業等(継続) 梅林公園管理事業

市の業務仕様の着実な執行と共に、下記の事業を行った。

- ① 梅、モミジ等樹木の剪定、枯れ枝の処理を行った。
- ② 芝刈り、藤棚、生垣の維持管理を行った。
- ③ 梅の開花時期に合わせて、梅だよりとして当財団ホームページに週1回、計10回掲載した。
岐阜市のホームページにもリンクしており、利用者からは好評であった。
- ④ 市民参画社会形成の一環として地元校区のアダプト・プログラム(梅林公園守る会、D51守る会)の皆さんに清掃用具を貸し出すとともに、園内の清掃・管理を協働で行った。
令和4年3月に実施予定の梅林公園「第70回ぎふ梅まつり」は、新型コロナウイルス感染予防対策のため令和5年3月に延期することとなった。

2 その他会計事業

(1) 他1 岐阜公園等管理事業

岐阜市との協働による公園維持管理業務(アルバイト職員3名を派遣)、来園者駐車場(堤外駐車場、堤外第2駐車場、大宮町駐車場)及び華松軒(和室、茶室等)の管理業務並びに使用料収納業務事務を行い、公園来園者のサービス向上に努めた。

① 駐車場の利用状況

・堤外駐車場(収容台数 普通車143台)

利用総数 76,325台(前年度 83,383台)

一日平均 209台(前年度 228台)

・堤外第2駐車場(収容台数 普通車36台)

利用総数 19,280台(前年度 21,410台)

一日平均 52台(前年度 58台)

・大宮町駐車場

(収容台数 バス17台、普通車28台、障がい者等12台)

利用総数 バス 644台(前年度 720台)

自家用車 106,060台(前年度 22,277台)

一日平均 バス 2台(前年度 2台)

自家用車 290台(前年度 61台)

② 岐阜公園来園者環境整備状況

ア 来園者に対する誘導をスムーズにするため、パンフレット「岐阜公園駐車場案内図」の配布に努めた。

イ 岐阜公園、岐阜城・金華山への来訪者に対する「おもてなしの心」の一環として、岐阜公園駐車場に花のプランターを設置した。

ウ 来園者無料休憩所南側にゴーヤによる「緑のカーテン」を設置し、緑化推進と休憩者に対し涼の提供を行った。

エ 華松軒の利用促進を図るため、案内看板を設置した。

オ 来園者が庭園を眺めながら呈茶を楽しめるように野立て傘を設置した。

カ 駐車場内の凍結防止策として融雪剤の散布機を購入した。

③ 日本の伝統文化「茶の湯」の体験と普及啓発のため毎年行う市民茶会「一期一会茶の湯」を企画した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(2) 他2 薬草園管理事業

岐阜薬科大学の指示・指導の下、薬草園の維持管理及び市民への薬草に関する正しい知識の普及に努めた。

① 標本中央畑他8ブロックにおいて、栽培、除草、清掃、種子採取、収穫、植替え等を実施した。

② 管理舎、水草園の維持管理及び温室の室温管理を実施した。

※ボランティア勉強会（毎月第2水曜日）、一般公開、オウレン特別公開は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止とした。

(3) 他3 自動販売機事業等収益事業

当財団の貴重な運営財源である収益事業の概要は、次のとおりである。

・自動販売機事業	設置数	32台	(前年度	32台)
	収益額	4,411,807円	(前年度	4,710,583円)
・立礼茶席事業	利用者数	5,619人	(前年度	6,820人)
	収益額	2,698,150円	(前年度	3,392,950円)

※ 「まん延防止等重点措置」地域の指定及び「緊急事態措置を実施すべき地域」の指定に伴い、5月24日から6月20日及び8月20日から9月30日まで立札茶席を休業した。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、席数を半数以下に減らし、アルコール消毒などを徹底して営業を行った。

総合計収益額 7,109,957 円 （前年度 8,103,533 円）